



株式会社三菱UFJ銀行との 資本業務提携について

ウェルスナビ株式会社
2024年2月14日

資本業務提携の目的

三菱UFJ銀行及び三菱UFJフィナンシャル・グループの顧客基盤・商品ラインナップと、当社のスピーディーな商品企画・開発力を掛け合わせ、個人の健全な資産形成の発展に貢献し、両社の企業価値向上を追求していく

- ロボアドバイザー「WealthNavi（ウェルスナビ）」と「おまかせNISA」の普及を加速
- お金の悩みを解決する総合アドバイザリー・プラットフォーム（MAP: **M**oney **A**dvisory **P**latform）の開発・提供



×



業務提携

ロボアドバイザー事業の成長加速

- 2024年中に、「おまかせNISA」を含むロボアドバイザーの普及の加速に向けた提携強化
- ### 総合アドバイザー・プラットフォーム（MAP）の共同開発
- 2024年は、共同でMAPの企画・開発を進める
 - 2025年には、MAPのリリースと段階的なサービス内容の拡充に取り組む

資本提携

第三者割当増資により、当社発行済株式総数の18.41%相当の普通株式を割り当て。その結果、三菱UFJ銀行の持株比率は15.55%となり、当社の第2位の株主となる

- 差引手取金概算額は15,431百万円

上記増資及び三菱UFJ銀行が指名する取締役候補1名の株主総会での選任後、当社は三菱UFJ銀行の持分法適用関連会社となる

資金使途

調達資金15,431百万円は、2024年4月～2026年12月の期間において、既存のロボアドバイザー事業、新規のMAP事業に充当

- ロボアドバイザー事業のマーケティング：3,000百万円
- MAP事業の企画・開発・運営、システム基盤・データ基盤の構築：4,000百万円
- MAP事業のマーケティング：3,000百万円
- MAP事業の将来のM&A、資本業務提携等：5,431百万円

業務提携の内容

ロボアドバイザー事業

「おまかせNISA」を含むロボアドバイザーの普及の加速に向けた提携強化

- 三菱UFJ銀行の顧客基盤を活かし、お任せ運用ニーズのある個人のお客様の「WealthNavi for 三菱UFJ銀行」への連携を強化
- 「WealthNavi for 三菱UFJ銀行」の、三菱UFJダイレクト（アプリ、Web）からの導線強化や、三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、「MUFG」）の取引特典プログラムへの組み込みなど、当社のロボアドバイザー事業のお客さま獲得に向けた取り組み
- MUFG各社と当社の事業提携の検討

総合アドバイザー・プラットフォーム（MAP）事業

年齢、家族構成、PFMデータなどの顧客データを収集し、アルゴリズムを介して、お客様にとって最適な商品をアドバイスし、最適な顧客体験の提供を目指す

- 両社でお金の悩みを解決する総合アドバイザー・プラットフォーム（MAP: **M**oney **A**dvisory **P**latform）の企画・開発を進める。2025年中のリリースと、その後は段階的にサービス内容の拡充を進める
- アドバイスの範囲は、資産運用に加えて、生命保険、年金、金融教育、住宅ローンなど段階的に拡張し、生涯を通してお客様の状況に応じ、中立的な立場からの提案を実施
- 三菱UFJダイレクト（アプリ、Web）からの導線の実現や、銀行店舗も活用した対面ニーズへの対応を検討
- MUFGの取引特典プログラムへの組み込みなど、MUFG各社と連携して訴求を進め、本邦全体における「貯蓄から投資」の底上げに貢献

総合アドバイザー・プラットフォームの構想（1）

960万人が利用するMUFG
のWeb・アプリ上でお客様に
ご案内

お客様が入力したライフイベ
ントなどのデータをもとに、様々
なリスクを総合的に診断

中立的な立場からお客様毎
に総合的にアドバイスし、商品
を定期的に見直し



診断する

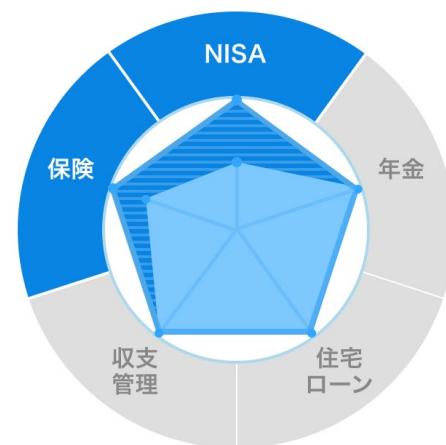
W WealthNavi



総合評価 **B+** 老後の資産に関する備えと、もしも
のときのご家族のための備えが不足し
ているようです

アドバイスを見る

W WealthNavi



ライフプランアドバイス

おまかせNISA



NISAをリスク許容度5で月々〇万円以
上積立しましょう。 >

総合アドバイザー・プラットフォームの構想（2）



- お客様が入力したライフイベントなどのデータをもとに、様々なリスクを総合的に診断
- 中立的な立場からお客様毎に総合的なアドバイスを提供
 - 例：NISAによる老後への備えと、保険による家族への備えを最適化
- 金融商品・サービスの組み合わせを定期的に見直し

資本提携の内容

第三者割当増資により、三菱UFJ銀行に当社発行済株式総数の18.41%相当の普通株式を割り当て。その結果、三菱UFJ銀行の持株比率は15.55%となり、当社の第2位の株主となる

- 発行新株式数：9,110,000株（希薄化率：18.41%）
- 発行価額：1,718円/株（直近1ヶ月間の終値平均値）
- 差引手取金概算額：15,431百万円
- 払込期間：2024年3月4日（月）から2024年3月25日（月）まで

三菱UFJ銀行が指名する1名を含む取締役選任議案を、2024年3月の株主総会へ提出する予定

株主総会での可決を経て、三菱UFJ銀行の持分法適用関連会社となる見込み

資金使途

調達資金15,431百万円は、2024年4月～2026年12月の期間において、既存のロボアドバイザー事業、新規の総合アドバイザー・プラットフォーム（MAP）事業に充当

概要	金額 (百万円)	具体的な内容
ロボアドバイザー事業のマーケティング費用	3,000	<ul style="list-style-type: none">ロボアドバイザー「WealthNavi」や「おまかせNISA」の認知度向上と顧客基盤の拡大のためのマーケティング費用
MAP事業の企画・開発・運営、システム基盤・データ基盤の構築の資金	4,000	<ul style="list-style-type: none">MAP事業の、最適な顧客体験の実現の企画・開発、開発力向上に向けた人材の採用と体制整備、お客様へのアドバイス強化のためのカスタマーサポート体制の拡充事業全体を支えるシステム基盤・データ基盤の構築
MAP事業のマーケティング費用	3,000	<ul style="list-style-type: none">MAP事業の、顧客基盤の拡大に向けた機動的かつ集中的なマーケティング活動
MAP事業の将来のM&A、資本業務提携等の資金	5,431	<ul style="list-style-type: none">MAPにおける、サービス内容やアドバイス対象商品の拡充を加速させるため、また事業開発力やシステム開発力の強化など、事業ポートフォリオやケイパビリティの拡張を目的とした投資

参考：第三者割当増資後の当社の株主構成

氏名又は名称	持株比率	
	実行前	実行後
柴山和久（当社代表取締役）	21.45%	18.11%
株式会社三菱UFJ銀行	－%	15.55%
MORGAN STANLEY SMITH BARNEY LLC CLIENTS FULLY PAID SEG ACCOUNT	6.38%	5.39%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	3.18%	2.69%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE UKUC UCITS CLIENTS NON LENDING 10PCT TREATY ACCOUNT	2.54%	2.14%
THE BANK OF NEW YORK 133652	2.24%	1.89%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505303	2.08%	1.75%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1.79%	1.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1.79%	1.51%
株式会社SBI証券	1.62%	1.37%

（注）実行前の持株比率：2023年12月31日現在の発行済株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

実行後の持株比率：2023年12月31日現在の発行済株式総数（自己株式を除く）に本第三者割当により割り当てられる本株式数を加算した数に基づき算出



働く世代に豊かさを。

免責事項

本資料は、当社と株式会社三菱UFJ銀行との資本業務提携に関して一般に公表することを目的として作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

また、本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、本資料に記載されている当社以外の情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。